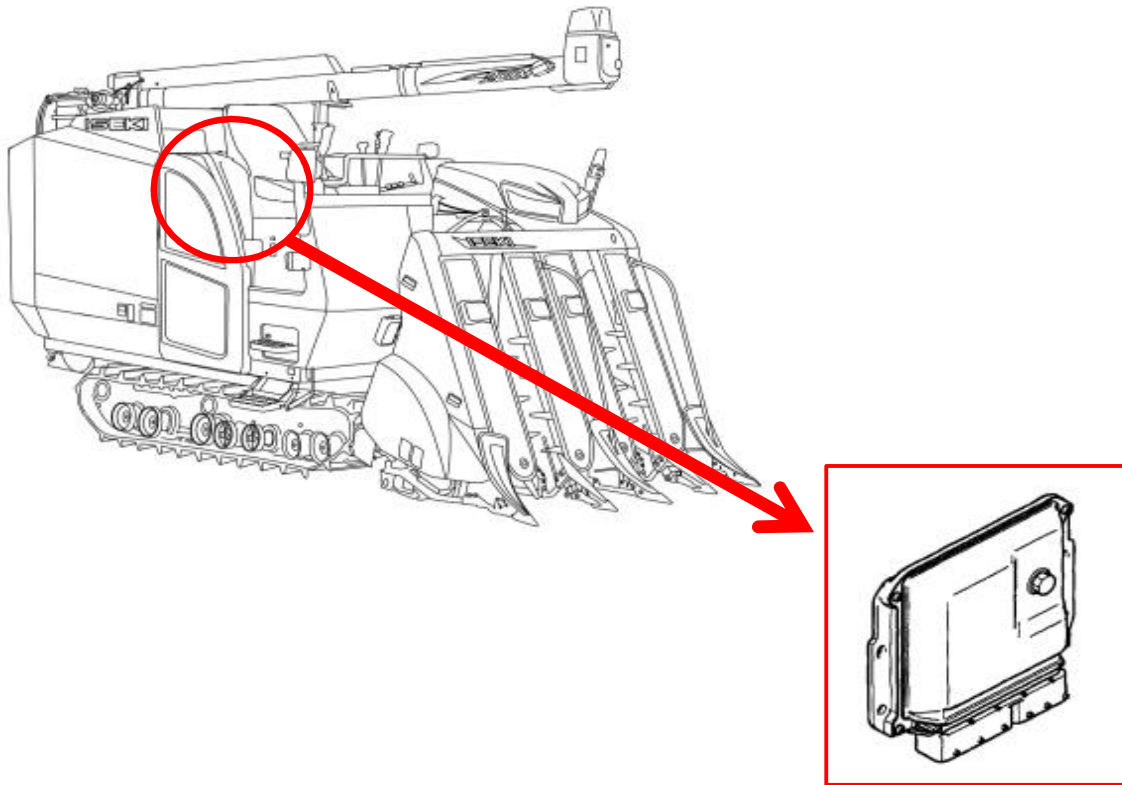


[改善箇所説明図①]



注： は、プログラムを書き換えるエンジン制御ユニットを示す。

不具合発生箇所

刈取脱穀作業車の原動機において、エンジン制御ユニットのプログラムが不適切なため、低中負荷領域において排出ガス中に含まれる未燃燃料の濃度が高くなり、当該燃料がEGRクーラーに廻り込み、カーボンデポジットが生成されEGRバルブに付着することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、付着したカーボンデポジットが剥がれ、EGRバルブに噛み込み、バルブが閉じることができず、バルブを駆動するモーターに負荷が掛かり、エンジンの出力が制限されるおそれがある。

改善内容

全車両、エンジン制御ユニットのプログラムを対策したものに書き換えるとともに、EGR回路を点検し、部品が損傷しているものは新品に交換する。

識別

座席下に白色の識別シールを貼り付ける。



識別シール貼り付け箇所